

「その他」の事例

相談事例① 障がい種別：精神障がい

（ご本人からの相談）

通っている作業所で、同じ利用者からひどいことを言われます。職員が注意をしないので、また言われるのではと思うと怖くて、作業所に行けません。

対応⇒ 相談者にひどいことを言われるようになったきっかけなど思い当たることはないかなど話を聞きました。

相談者からの希望で、相談者の名前を伏せて相談があったことを事業所に伝えました。事業所の責任者から、そういったことを見たり聞いたりした場合は、双方の話を聞いて対応します。と回答をいただきました。

事業所の責任者からの回答を聞き、少し安心された様子で相談を終えました。

相談事例② 障がい種別：不明

（ご本人からの相談）

企業の広報誌に障がい者に対する差別的な表現が掲載されています。何度か申し入れましたが、改善されません。企業に対し研修をしてください。

対応⇒ 相談者からの話を聞かせていただきました。企業の広報誌も送付いただき内容を確認しました。差別用語とされる言葉があったため、相談者の希望で企業に相談があったことを伝えました。

企業は、顧客からの便りをそのまま広報誌に掲載したとのことでした。差別的な用語は、表現を変えることなど提案させていただきました。

相談事例③ 障がい種別：不明

(ご本人からの相談)

施設見学に行った際、施設職員に自身の障がい特性（行動）を笑われました。
以降、体調が不安定で、食欲が減退し、服薬もままならない状態になってしまいました。どうすればいいのでしょうか。

対応⇒ 自身の障害について笑われた日から、気持ちが安定しないとのこと。

見学に行った施設職員に笑われた時のことなど聞きました。

現在の生活のことなど話されたので傾聴に努めましたが、特に何かをしてほしいといった希望はなく、また困ったことがあったら話を聞いてほしいとのことでした。

相談事例④ 障がい種別：発達障がい

(ご本人からメールにて相談)

職場で厳しく叱責されることがありました。自身でも職場での人間関係がうまくいかないと感じていました。上司から配置換えの提案があった時、自身のミスが多かったのか、わからないことを聞きにくくて自身で考えてやってしまったことがいけなかったのか、などさんざん悩んで結局仕事を辞めてしまいました。

対応⇒ 職場で体験したことやご自身で考えていること、上司のことなど饒舌に話されたので傾聴に努めました。

どちらがどうということでもなく、何かをしてほしいとの希望はありませんでしたが、「話を聞いてもらってスッキリした。」と相談を終えました。